

来年の株式上場に向け社員一丸



ジェイリース CEO 代表取締役社長
中島 拓氏

- ①西郷隆盛
- ②漫画家。藤子不二雄に憧れた
- ③ウォーキング

質問/①尊敬する人物 ②子どもの頃の将来の夢 ③趣味

2004年に家賃保証会社として創業して以来、堅実な発展を遂げてきたジェイリース。充実したネットワークで賃貸住宅市場に安心と信頼を提供している。同社は大分青年会議所のOBを中心に50人が「無縁社会で希望する住宅に入居できない人が増えている。住まいのサポートをどうして大分の街づくりをしよう」と資本を出し合っ

て生まれた。入居者、大家、不動産会社の3者をWIN・WINの関係で繋ぎたいと、ジョイントの「J」を社名に付けた。コンプライアンス、コーポレート・ガバナンスなど、社としての透明性の高さは、その成り立ちに由来している。10年前に社員2人で創業した同社は、現在国内外に15店舗17拠点、子会社

2社、社員数も230名と大きな成長を遂げ、本年3月は2億8000万円の経常利益を予定している。

中島社長は昨年4月、社員に向けて「2015年に全員で株式上場する」と宣言した。現在、各種の委員会を設置し、社員一丸となって上場への準備を進めている。上場をにらみ、昨年は政令指定都市への出店を前倒しさせた。昨年11月にオープンした名古屋支店のほか、本年4月の大阪支店を始め、今後は仙台、札幌、沖縄への出店を加速させる。「北は北海道から南は沖縄までという展開が見えてきた。これで「全国の賃貸住宅のサポートはジェイリースにお任せ」と言える」と胸を張る。

東京に居を構え、1年の殆どを東京

で過ごす今も「大分の皆さんに恩返ししたい」と、古里への思いは強い。昨年12月、大分トリニータのユニフォームスポンサー(袖)を引き受けた。「苦しいときに支援しなくてどうする」と頼もしい。

今年には全国に先駆けて視覚障がい者の雇用に取り組む。障がいの中でも視覚障がいには職業選択の幅が限られているのが現実だが、「ハードルを何とかクリアして、みんなの励みになるような企業にしたい」と受け入れ体制を整える。

10年の節目を迎え、更なる高みへと歩を進めるジェイリース。中島社長の視線は上場の先の「日本一」を見据えている。



大分トリニータのユニフォームスポンサーに



ジェイリース株式会社

ジェイリース株式会社
大分市都町3-7-23
TEL(097)534-2277
<https://www.j-lease.jp>